

仙台市スポーツに 関する意識調査の結果 について

令和8年6月 文化観光局スポーツ振興課

目次

仙台市スポーツに関する意識調査の結果について

1. 調査概要
2. 成果指標と目標値
3. 運動やスポーツの実施状況
4. こどもの運動やスポーツの実施状況
5. 高齢者の施設利用状況
6. 障害者スポーツの実施状況
7. 地域のスポーツ活動状況
8. スポーツ観戦状況
9. スポーツボランティア状況
10. 各種情報媒体の利用実態

調査概要

- 調査対象：仙台市在住の15歳以上80歳未満の中から無作為に抽出した3,000名
- 調査方法：Web回答併用での郵送調査
- 調査期間：令和7年11月7日(金)～12月8日(月)
- 有効回答率

配布数	総回答数	有効回答数	無効票	有効回答率
3,000	1,356	1,354	2	45.1%

R2有効回答率

50.9%
(参考値)

- 回収方法内訳
Web:48.1%(652/1,356人)
紙 :51.9%(704/1,356人)

成果指標と目標値

「仙台市スポーツ推進計画2022-2031」成果指標・目標値

	成果指標	現状値(R2)	目標値(R8)	R7 調査結果
総合	週1回以上スポーツを行う15歳以上の市民の割合	39.3%	70%	58.9%
1	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している15歳以上の市民の割合	-	50%	38.6%
2	週3回以上運動やスポーツを行う仙台市立小学校の児童(5年生)の割合(学校の体育の授業を除く)	52.1%	65%	48.8%
3	元気はつらつチャレンジカードの50回達成者数	896人	1,800人	1,362人
個別	障害者スポーツについて、「する」「みる」「ささえる」のいずれかの活動を行う15歳以上の市民の割合	-	20%	34.8%
4	市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事等に参加する15歳以上の市民の割合	18.7%	35%	19.5%
5	年1回以上市内の競技場等で直接スポーツ観戦する15歳以上の市民の割合	40.3%	50%	45.2%
6	スポーツボランティア活動を行う15歳以上の市民の割合	2.9%	8%	4.5%
7				

目標達成！

運動やスポーツの実施状況(1)

	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
総合	週1回以上スポーツを行う15歳以上の市民の割合	39.3%	70%

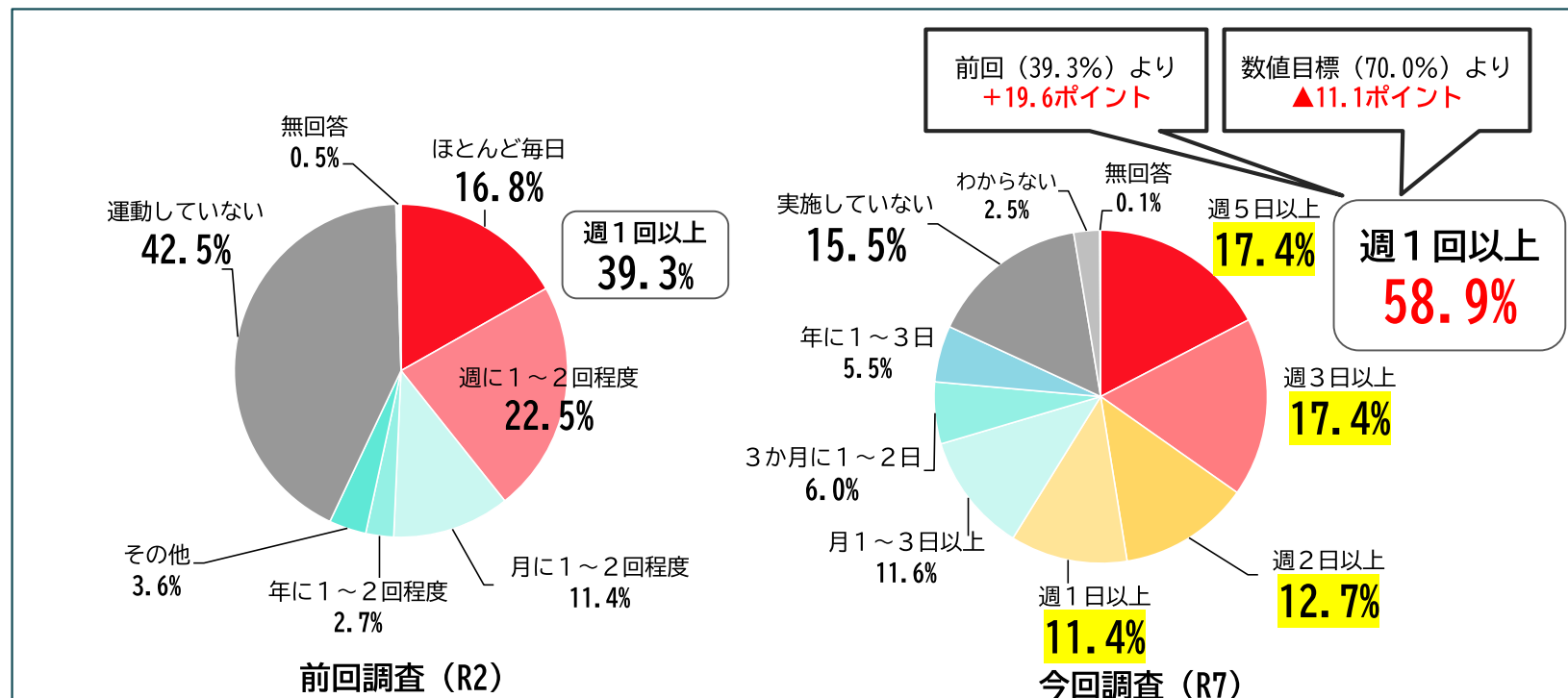
R7 調査結果

国(R7)

58.9%

51.7%
(参考値)

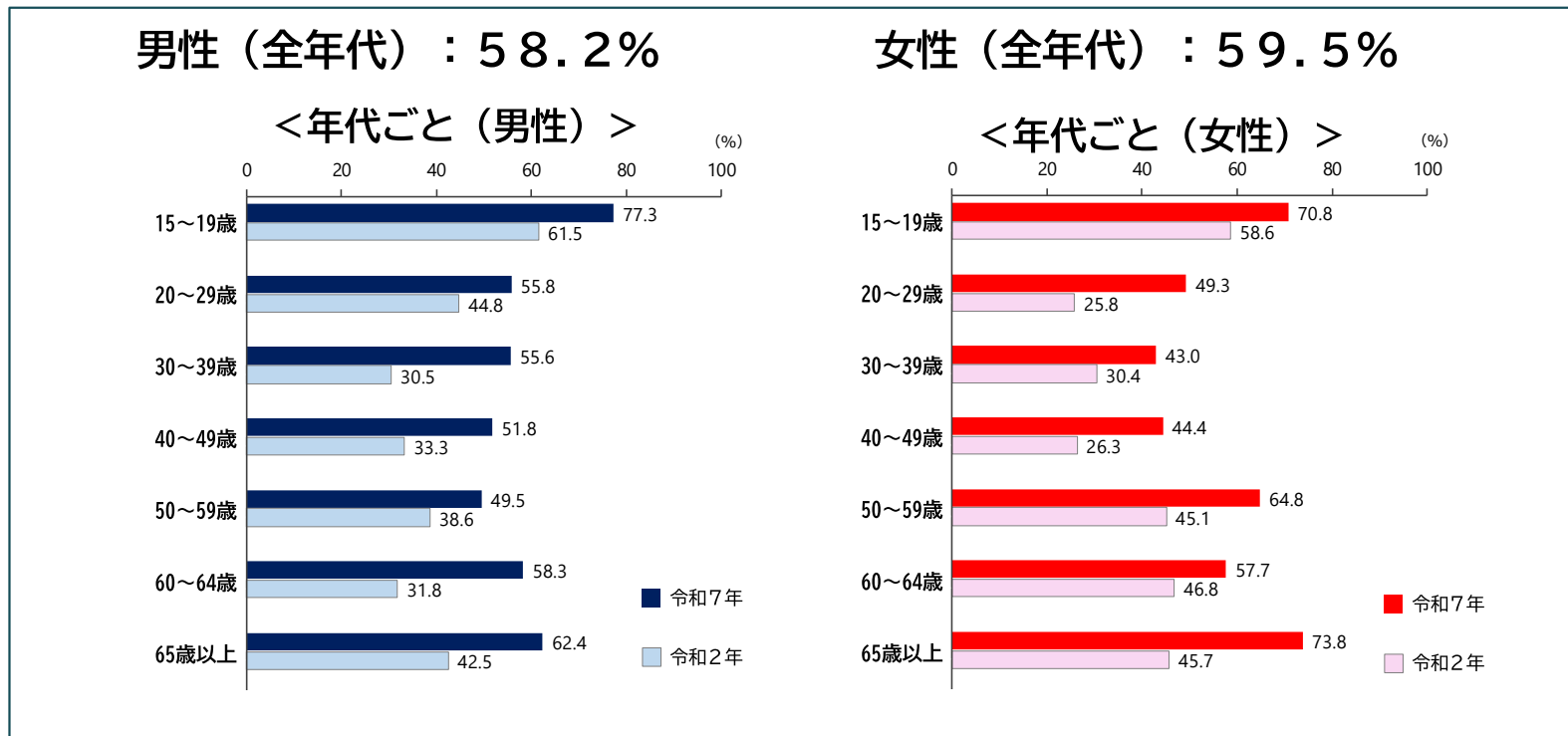
・週1回以上運動やスポーツを行う人の割合
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



■前回調査に比べ、「実施していない」と回答した方の割合が大幅に減少(42.5%→15.5%)した。

運動やスポーツの実施状況(2)

- ・週1回以上運動やスポーツを行う人の割合（R2・R7「スポーツに関する意識調査」）

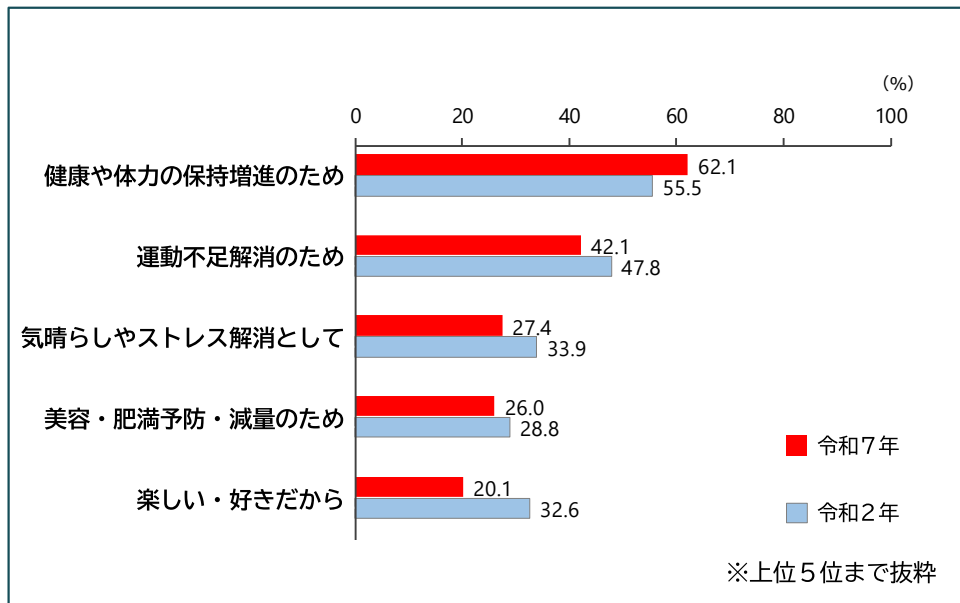


- 男性は40代～50代、女性は20代～40代の運動実施率が他の世代に比べて低い傾向。
- 同居する一番下の子ども等の年齢別での比較では、特に「3歳以上就学前の子ども等と同居する方の運動実施率」(39.0%)が全体に比べ低い。

運動やスポーツの実施状況(3)

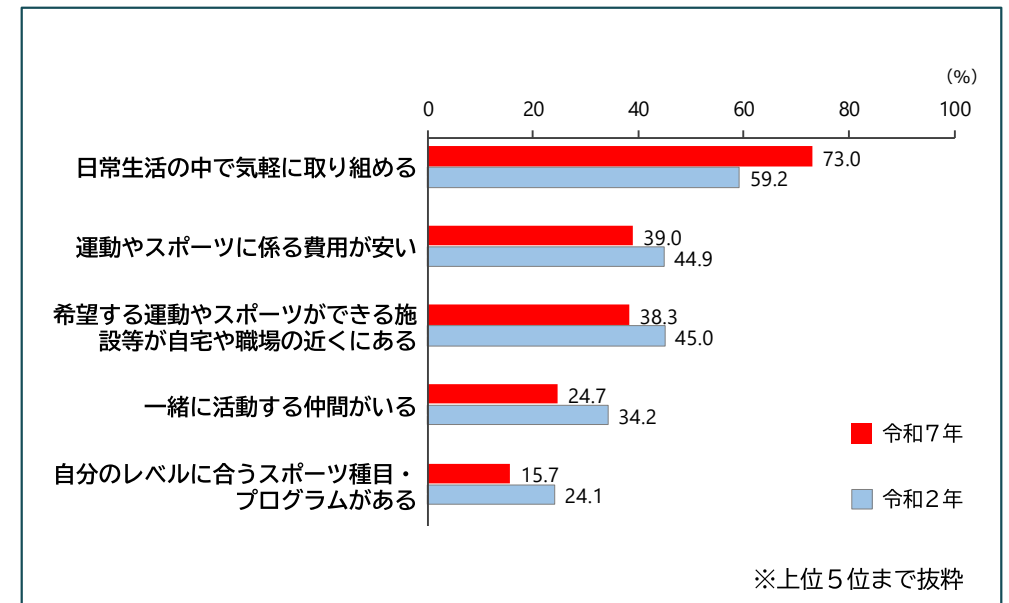
・運動やスポーツをした理由

(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



・運動やスポーツを習慣化するために必要だと思うこと

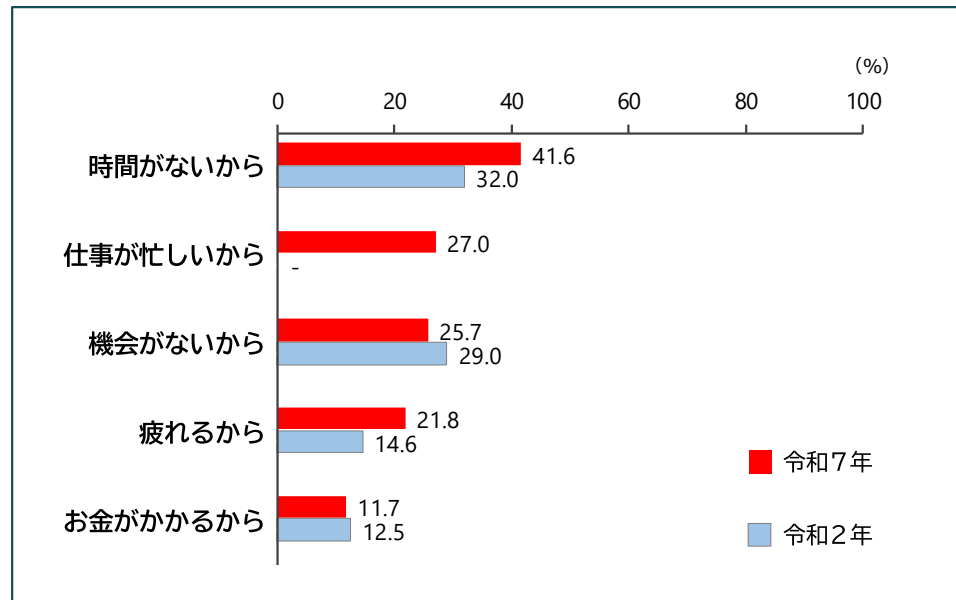
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



- 運動やスポーツをした理由として、「健康や体力の保持増進のため」「運動不足解消のため」が多く挙げられた。
- 前回調査に比べ、「楽しい・好きだから」と回答した方の割合が減少した(32.6%→20.1%)。
- 性年代別でも、若い世代で「健康や体力の保持増進のため」と回答した方の割合が増えており(10代女性で17.5%→45.0%)、「楽しい・好きだから」は性年代問わず全体として減少している。

運動やスポーツの実施状況(4)

・運動やスポーツを週1回以上しなかった理由



※上位5位まで抜粋

※「仕事が忙しいから」はR2調査で未聴取

■「時間がないから」「仕事が忙しいから」といった時間的制約を理由に挙げる方が多かった。

■性年代別では、65歳以上男性が「歳をとったから」(37.1%)、30代女性(34.0%)、40代女性(28.1%)が「子育てが忙しいから」と回答した割合が全体割合より高い傾向である。

運動やスポーツの実施状況(5)

	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
1	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している15歳以上の市民の割合	-	50%

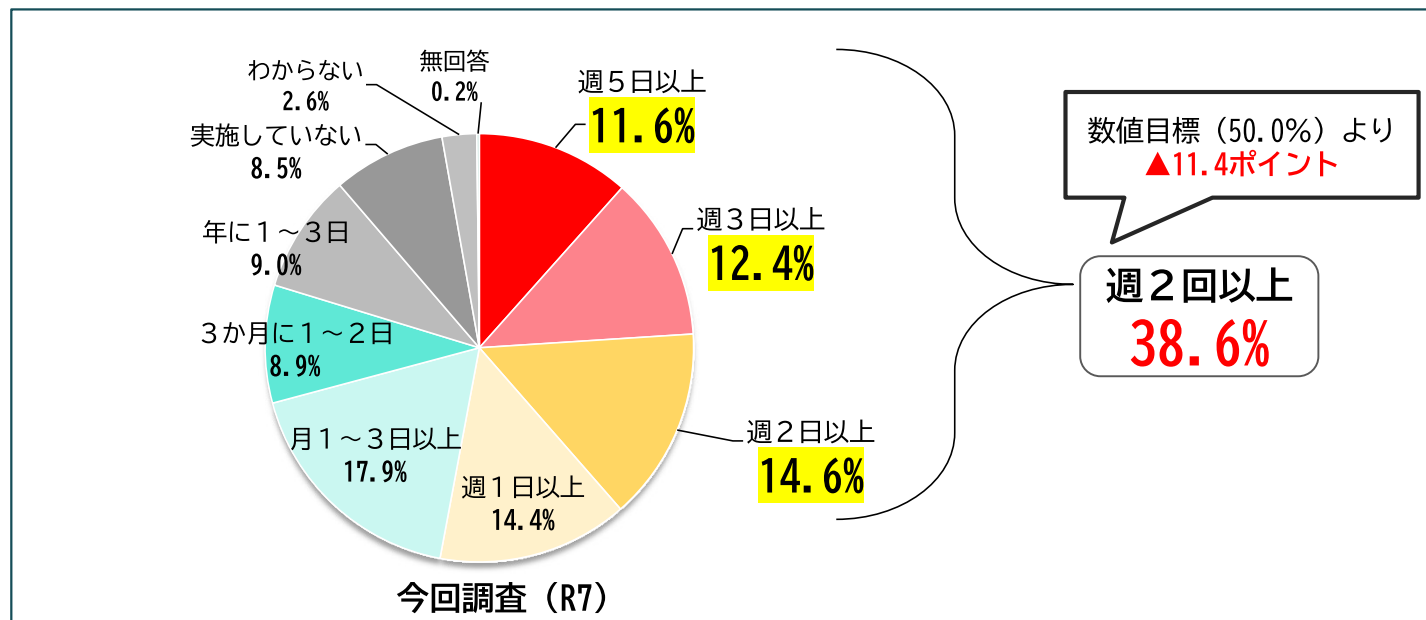
R7 調査結果

国(R7)

38.6%

26.9%

- ・ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を行う人の割合
(R7「スポーツに関する意識調査」)



■性年代別でみると、10代男性(66.7%)、10代女性(57.5%)、65歳以上の女性(50.5%)は実施している割合が50%を超えるが、20代~40代女性(いずれも30%以下)は実施している割合が低い。

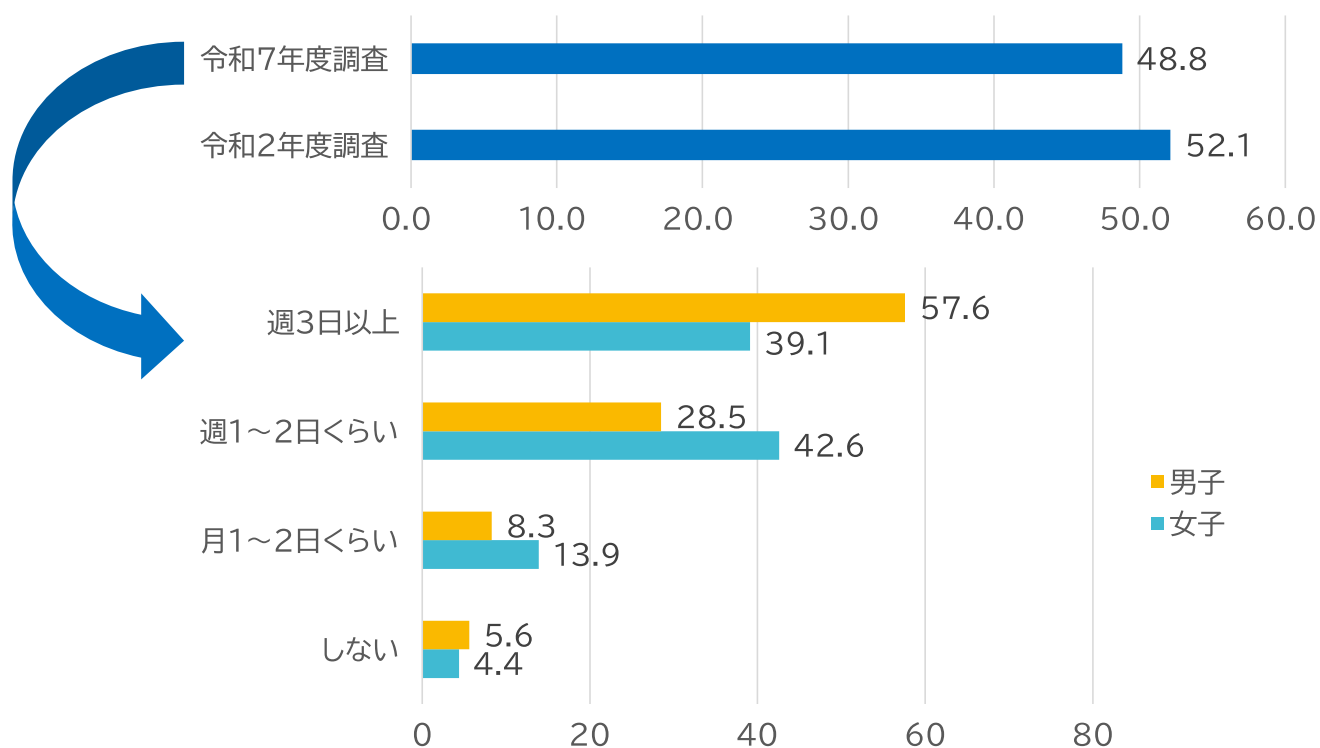
こどもの運動やスポーツの実施状況(1)

	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
2	週3回以上運動やスポーツを行う仙台市立小学校の児童(5年生)の割合(学校の体育の授業を除く)	52.1%	65%

R7 調査結果

48.8%

・週3回以上、運動やスポーツ、外遊びを行った児童(小5)の割合
(「仙台市立小・中・中等教育・高等学校健康実態調査報告書」)

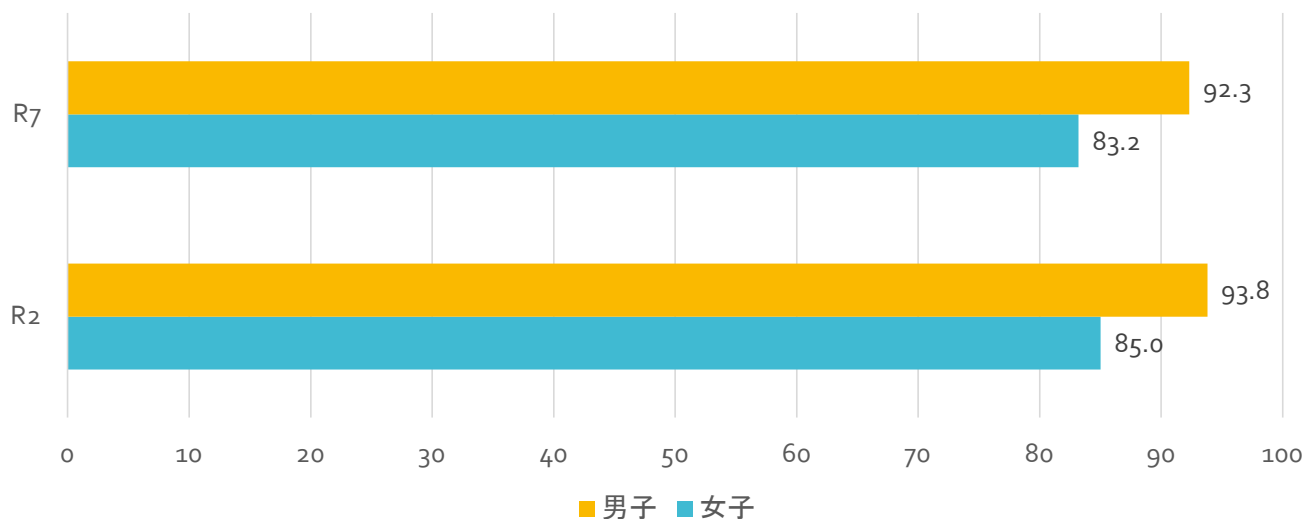


前回 (52.1%) より
▲3.3ポイント

数値目標 (65.0%) より
▲16.2ポイント

こどもの運動やスポーツの実施状況(2)

・運動が好きな児童(小5)の割合
(「仙台市立小・中・中等教育・高等学校健康実態調査報告書」)



- R2調査に比べ、「週3回以上、運動等を行った児童の割合」が減少した(52.1%→48.8%)。
- 「運動が好きな児童の割合」もR2調査に比べて減少している(男子:93.8%→92.3%、女子:85.0%→83.2%)。

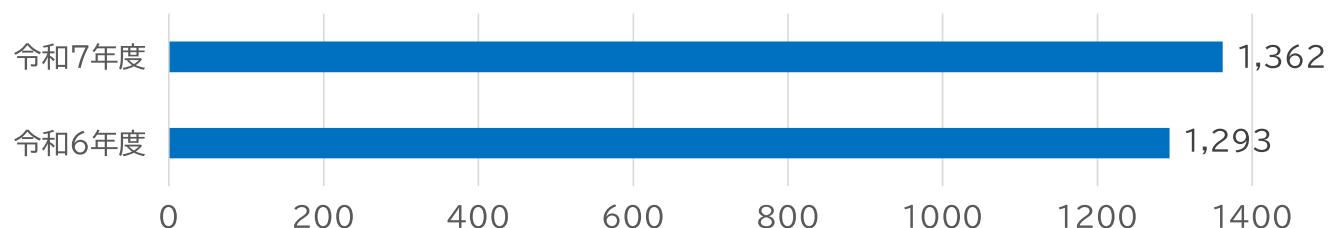
高齢者の施設利用状況

	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
3	元気はつらつチャレンジカードの50回達成者数	896人	1,800人

R7 調査結果

1,362人

・元気はつらつチャレンジカードの50回達成者数
(市所管のスポーツ施設等への調査)



- 元気はつらつチャレンジカードの50回達成者数は、数値目標から約500人少ない状況である。
- 65歳以上の「週1回以上運動やスポーツを行う市民の割合」は大幅に上昇している(男性: 47.5%→62.4%、女性: 45.7%→73.8%)。

※「元気はつらつチャレンジカード」は65歳以上の方を対象に、利用回数に応じて体育館、プール、トレーニングルーム等の市内スポーツ施設の使用料が無料になる制度

障害者スポーツの実施状況(1)

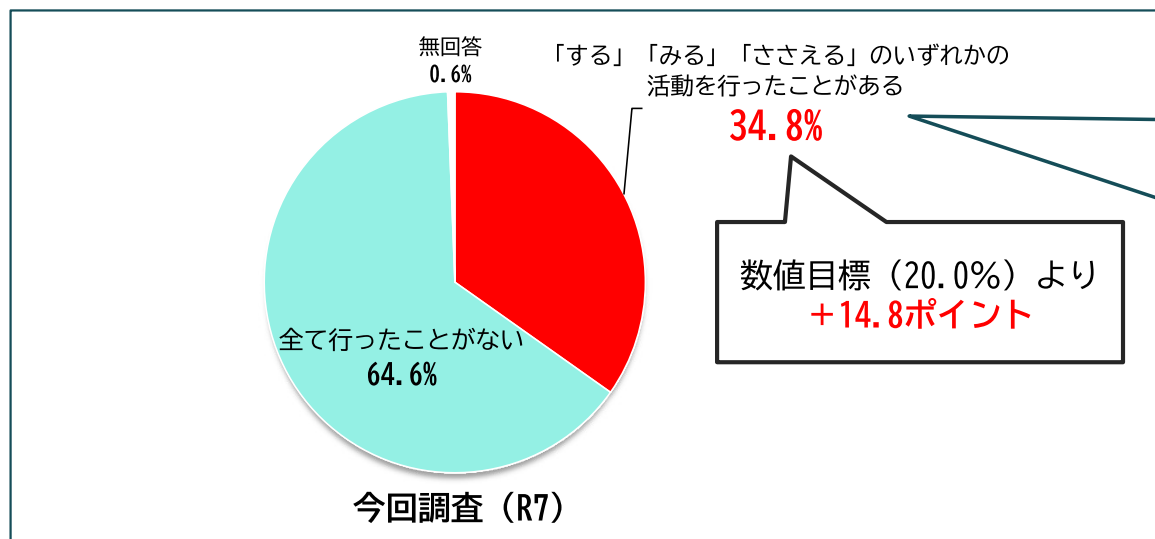
	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
4	障害者スポーツについて、「する」「みる」「ささえる」のいずれかの活動を行う15歳以上の市民の割合	-	20%

R7 調査結果

34.8%

目標達成

- ・障害者スポーツについて、「する」「みる」「ささえる」のいずれかの活動を行う15歳以上の市民の割合 (R7「スポーツに関する意識調査」)



「する」「みる」「ささえる」それぞれの割合

「する」活動を行ったことがある → 5.3%

「みる」活動を行ったことがある → 30.1%

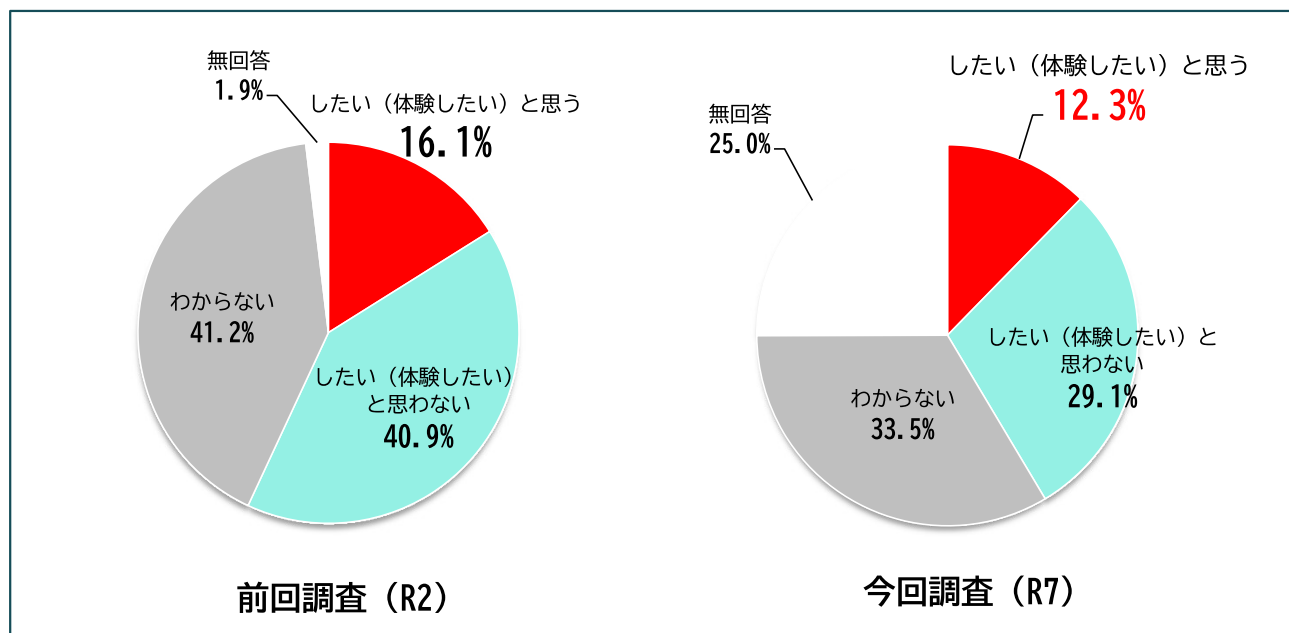
「ささえる」活動を行ったことがある → 3.4%

「いずれかの活動を行ったことがある」
100.0% - (「全て行ったことがない」+「無回答」)

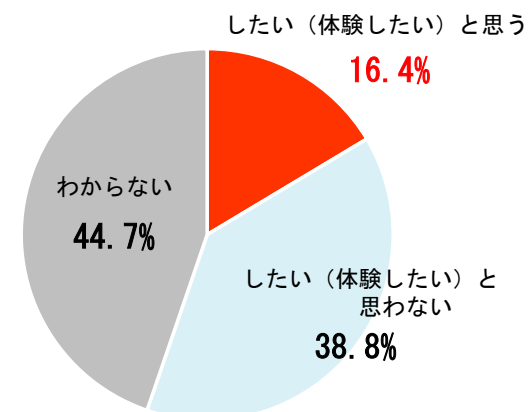
■性年代別でみると、10代男女(男性:20.5%、女性:18.8%)が「する活動を行ったことがある」と回答した方の割合が他の世代に比べて高い(全体:5.3%)。

障害者スポーツの実施状況(2)

- ・障害者スポーツをしたいと思うか
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



【参考】今回調査で「無回答」を除外した場合

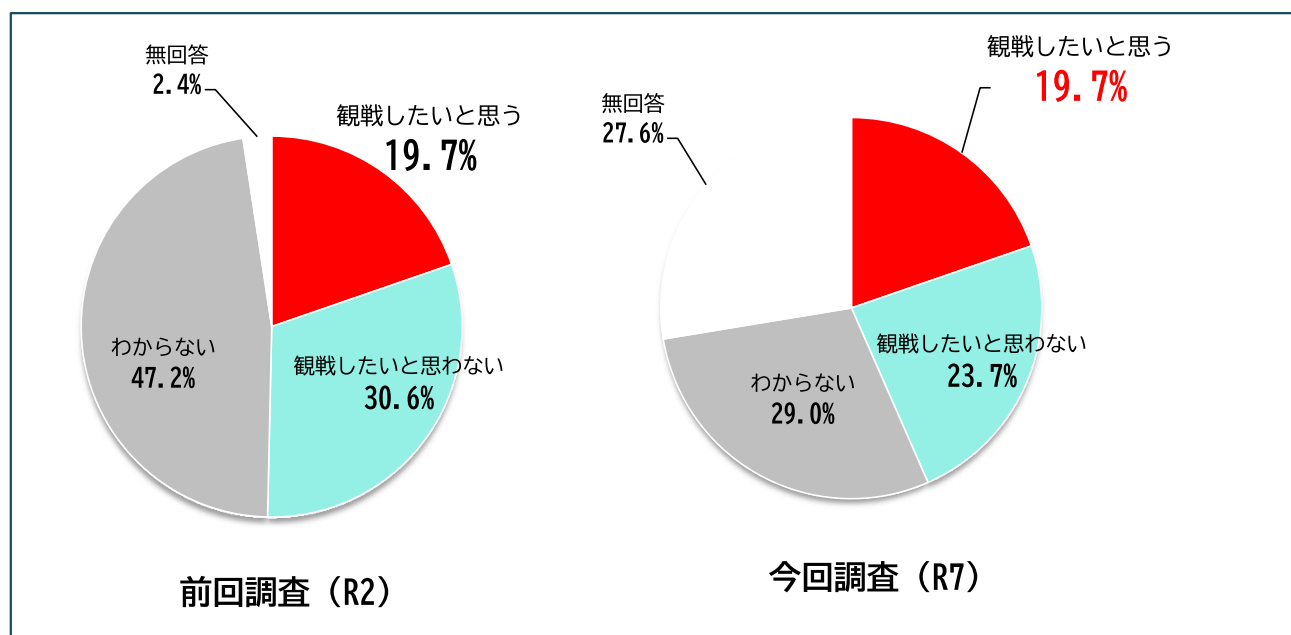


■性年代別でみると、10代男女(男性:20.0%、女性:28.2%)、20代男性(20.8%)で「したい(体験したい)と思う」と回答した方の割合が他の年代に比べ高い(全体12.3%)。

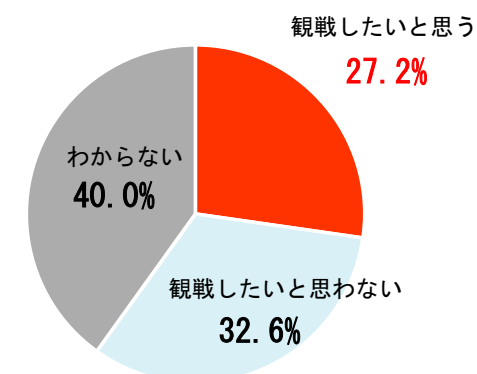
障害者スポーツの実施状況(3)

・障害者スポーツを観戦したいと思うか

(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



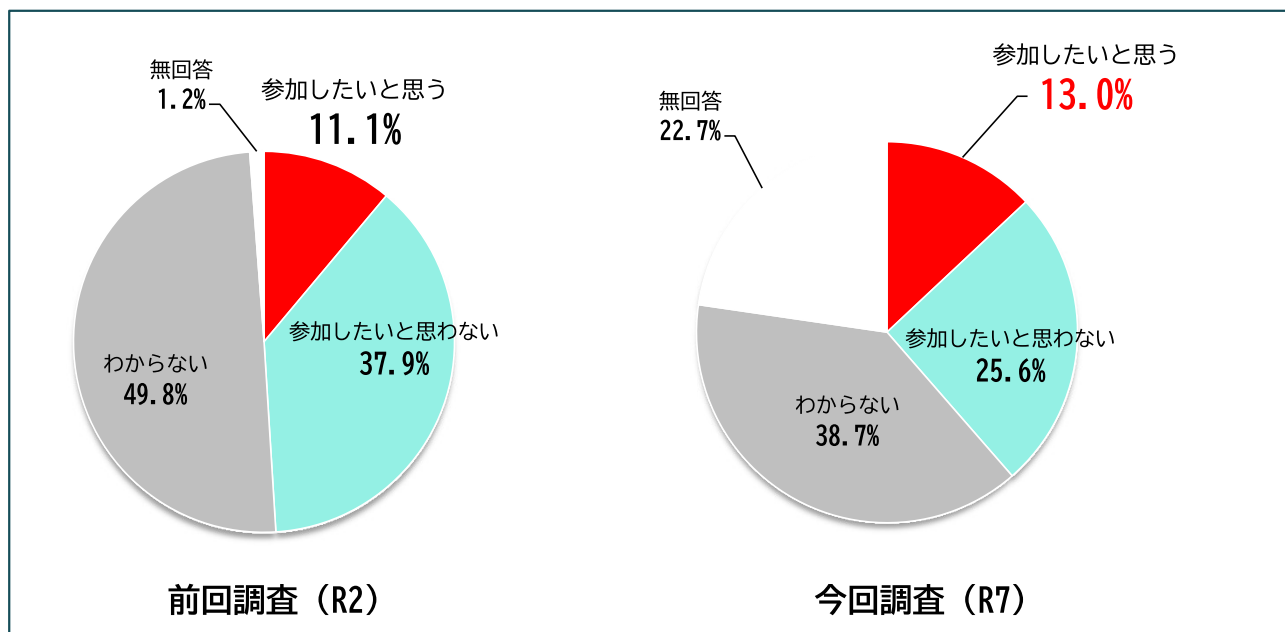
【参考】今回調査で「無回答」を除外した場合



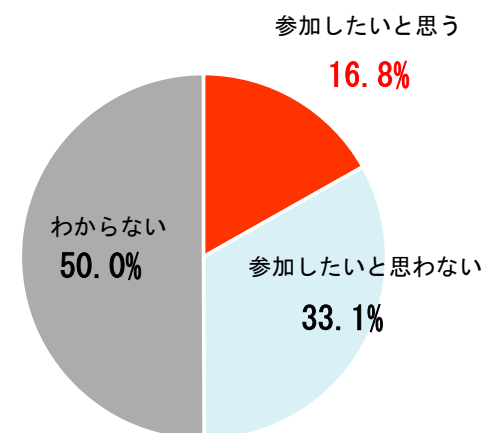
■性年代別でみると20代男女(男性:26.3%、女性:22.4%)、60歳～64歳男性(24.3%)で「観戦したいと思う」割合が他の世代に比べ高い(全体:19.7%)。

障害者スポーツの実施状況(4)

- ・障害者スポーツをささえる活動に参加したいと思うか
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



【参考】今回調査で
「無回答」を除外した場合



■性年代別でみると10代女性で「参加したいと思う」割合(25.5%)が他の世代に比べ高い(全体:13.0%)。

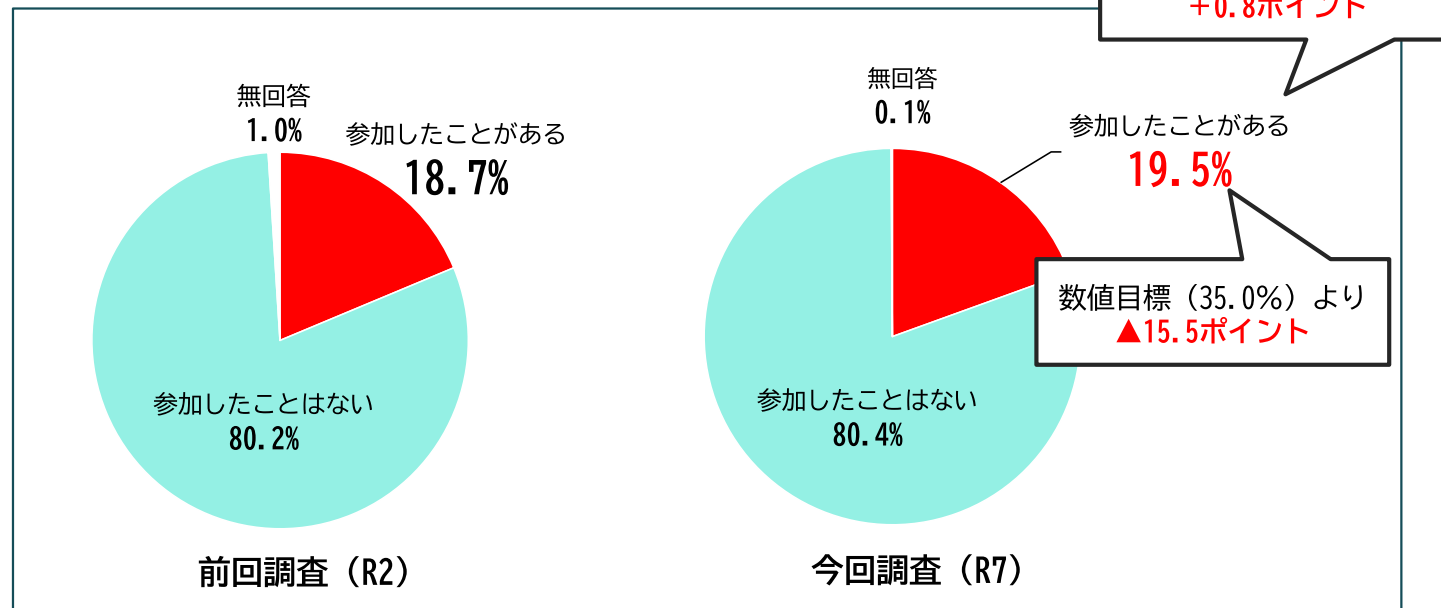
地域のスポーツ活動状況(1)

	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
5	市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事等に参加する15歳以上の市民の割合	18.7%	35%

R7 調査結果

19.5%

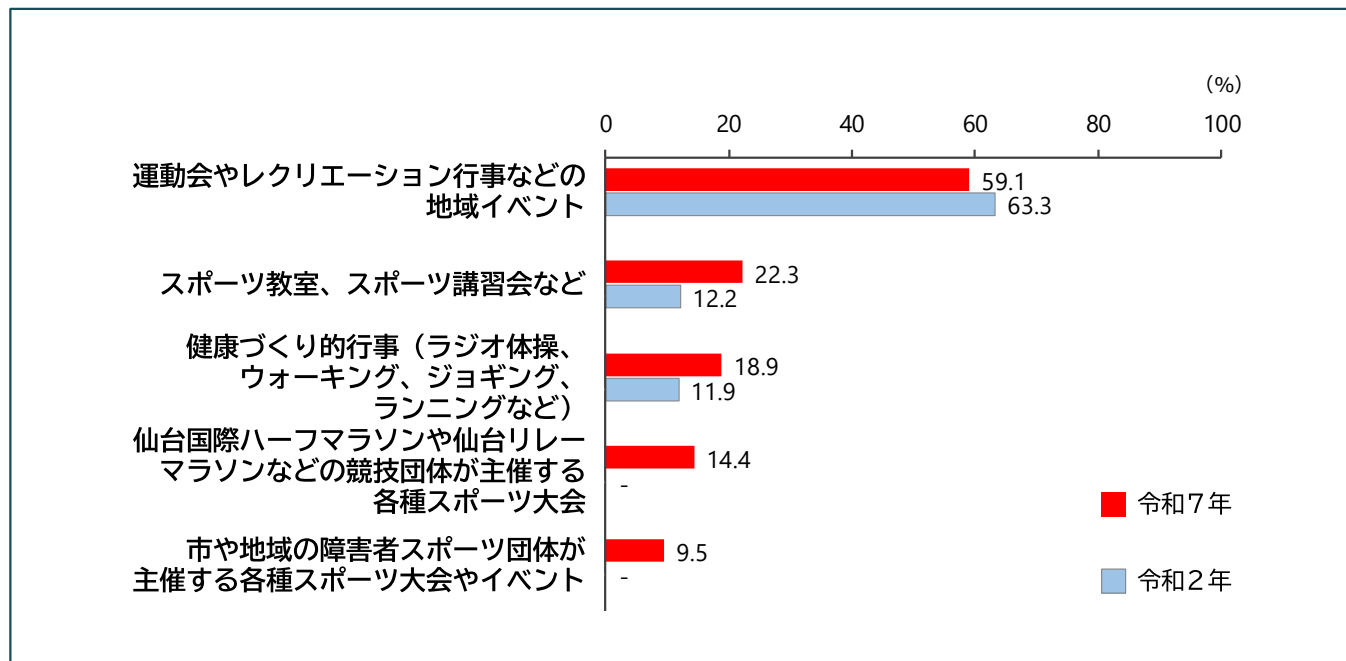
・市や地域スポーツ団体などが主催するスポーツ行事に参加した人の割合
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



■性年代別でみると「参加したことがある」の割合は、50代女性(23.0%)、60代以上の世代(24.6%)で高く、10代・20代の女性(10代:10.4%、20代:12.3%)や30代の男女(男性:13.9%、女性:7.0%)が低い。

地域のスポーツ活動状況(2)

- ・これまでに参加したことがある行事
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)

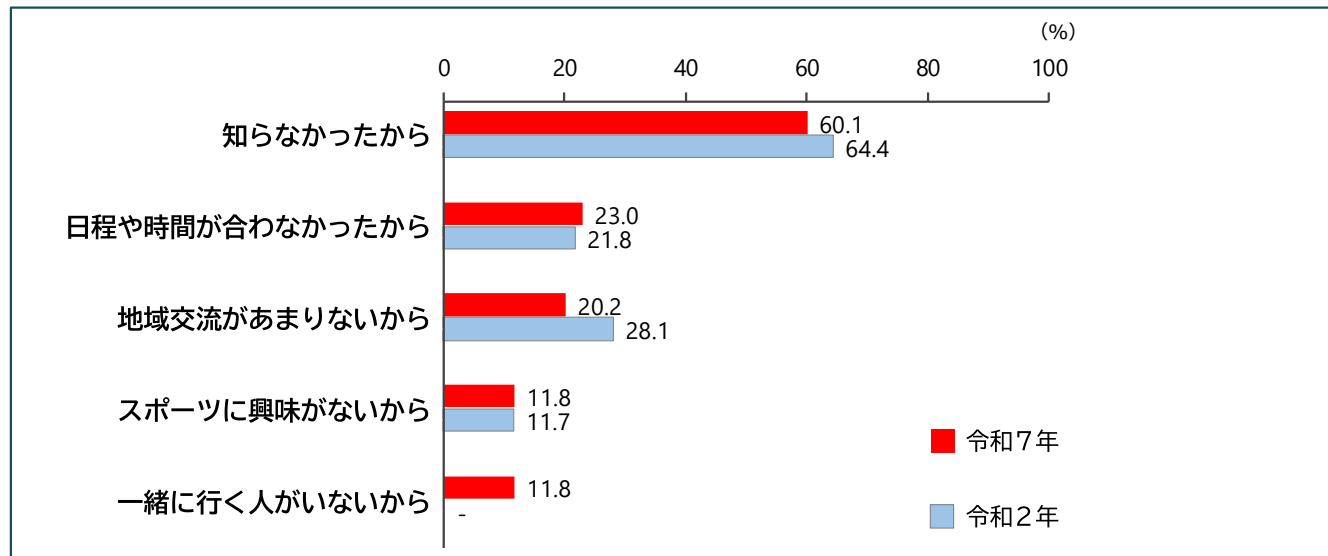


※上位5位まで抜粋

※「仙台国際～」 「市や地域の～」は前回調査で未聴取

地域のスポーツ活動状況(3)

- ・行事に参加しなかった理由
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



※上位5位まで抜粋

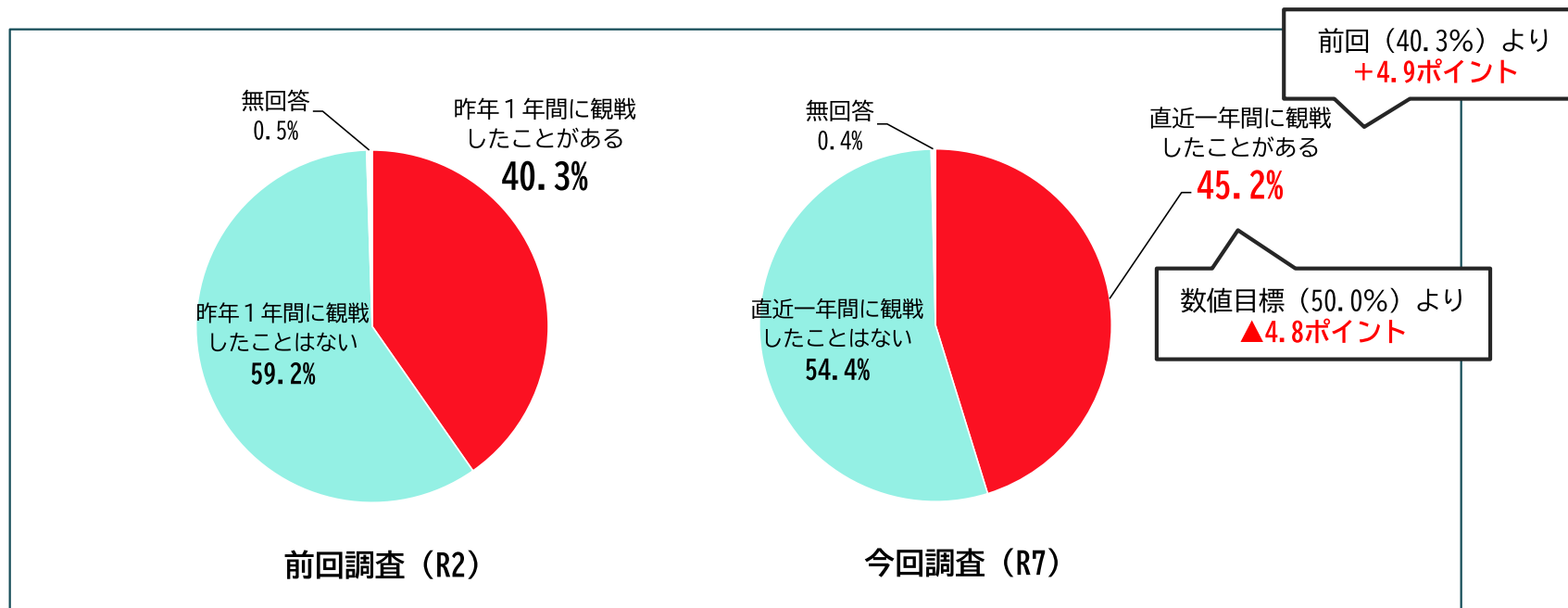
※「一緒に行く人がいないから」は前回調査で未聴取

■行事に参加しなかった理由として、「知らなかったから」と回答した方の割合が圧倒的に多かった。

スポーツ観戦状況(1)

	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)	R7 調査結果
6	年1回以上市内の競技場等で直接スポーツ観戦する15歳以上の市民の割合	40.3%	50%	45.2%

・年1回以上市内の競技場等でスポーツ観戦する人の割合 (R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



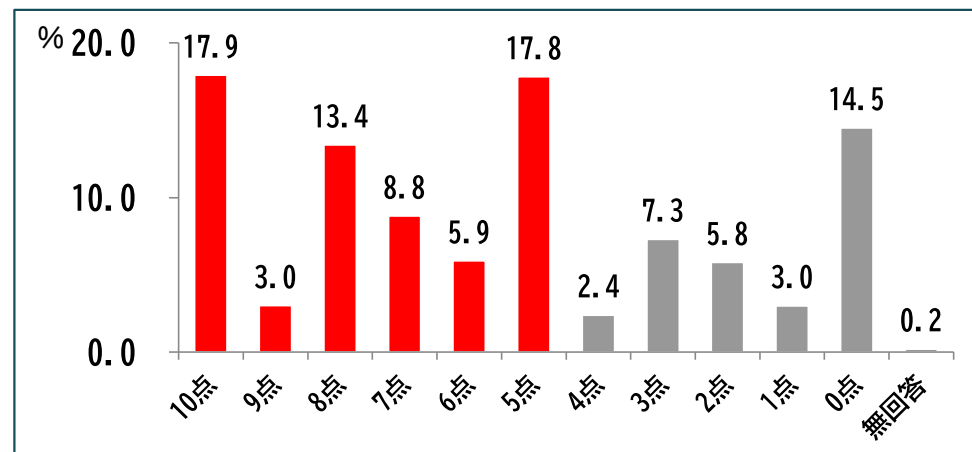
■直近1年間に観戦したスポーツ種目については、「東北楽天ゴールデンイーグルス」(68.1%)が最も高く、次いで「ベガルタ仙台」(22.4%)、「マラソン、駅伝」(21.4%)となっている。

スポーツ観戦状況(2)

- ・地元プロスポーツチームへの関心の有無
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)

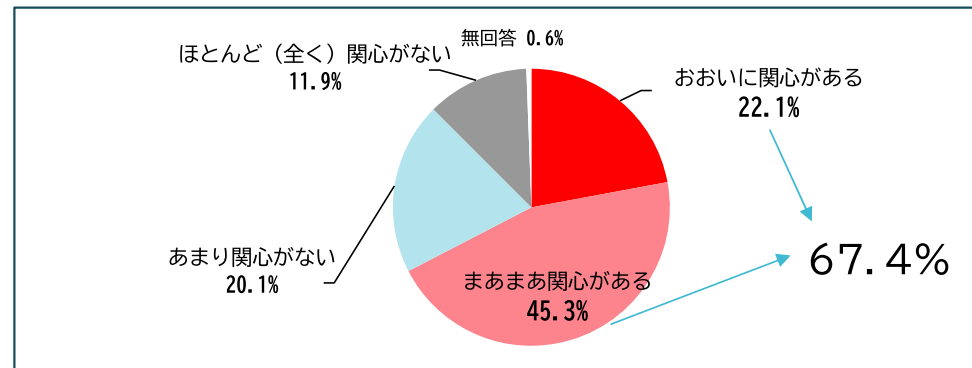
5～10点まで
66.8%

今回調査 (R7)



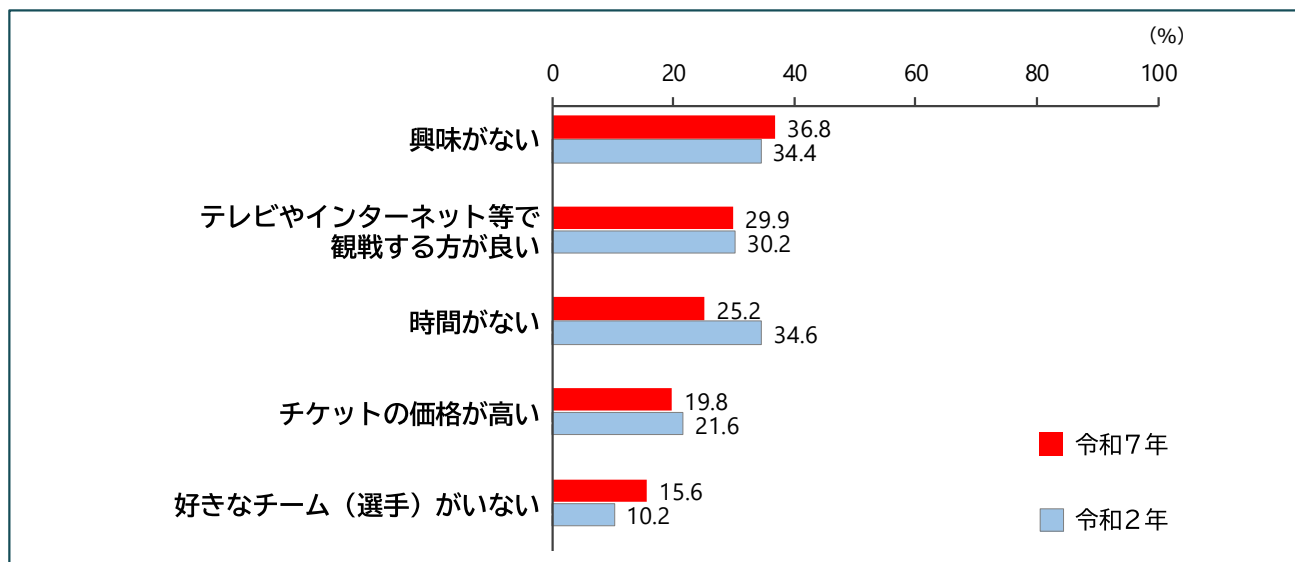
※参考

前回調査 (R2)



スポーツ観戦状況(3)

・競技場で直接観戦したことがない理由
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



※上位5位まで抜粋

■競技場で直接観戦したことがない理由として、「興味がない」「テレビやインターネット等で観戦する方が良い」といった回答をした方が多かった。

■性年代別でみると「興味がない」と回答した方が20代女性(63.9%)、20代男性(61.9%)、10代男性(62.5%)と全体の割合より高くなっている。

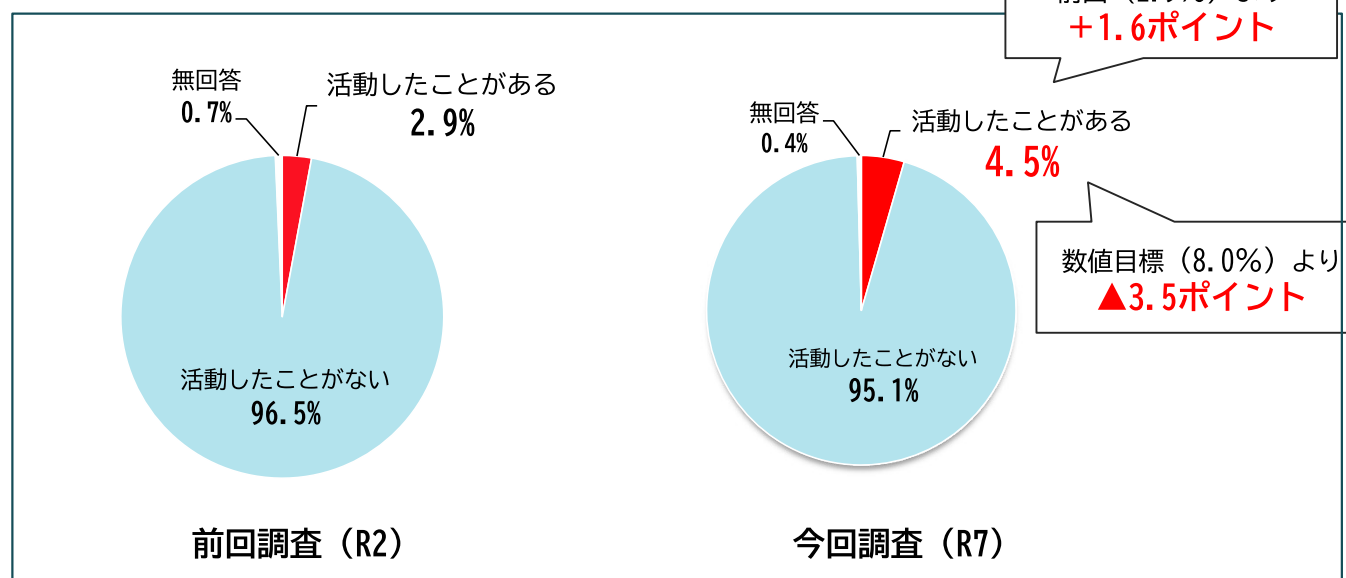
スポーツボランティア状況(1)

	成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)
7	スポーツボランティア活動を行う 15歳以上の市民の割合	2.9%	8%

R7 調査結果

4.5%

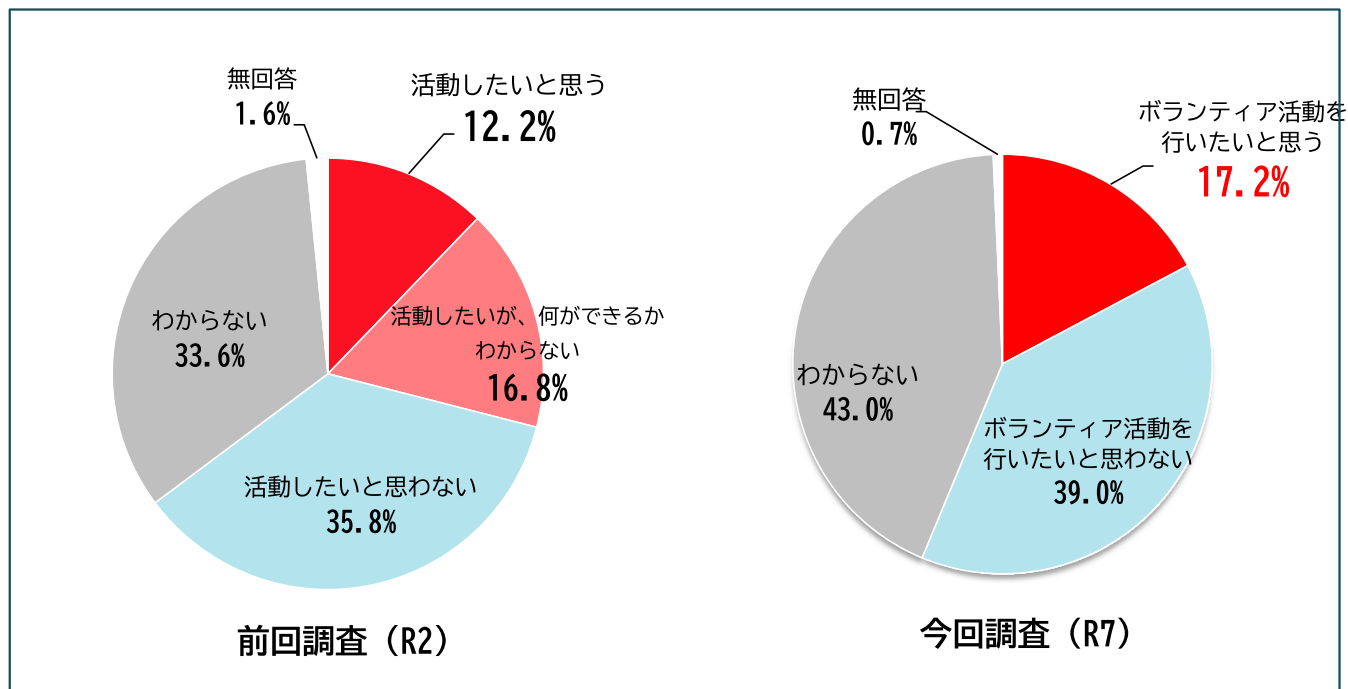
- ・スポーツボランティアを行う15歳以上の市民の割合
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



■性年代別では、「活動したことがある」と回答した方が10代(男性:13.6%、女性:10.4%)と40代(男性:9.4%、女性:13.9%)で10%前後であり、全体の割合よりも高い傾向がある。

スポーツボランティア状況(2)

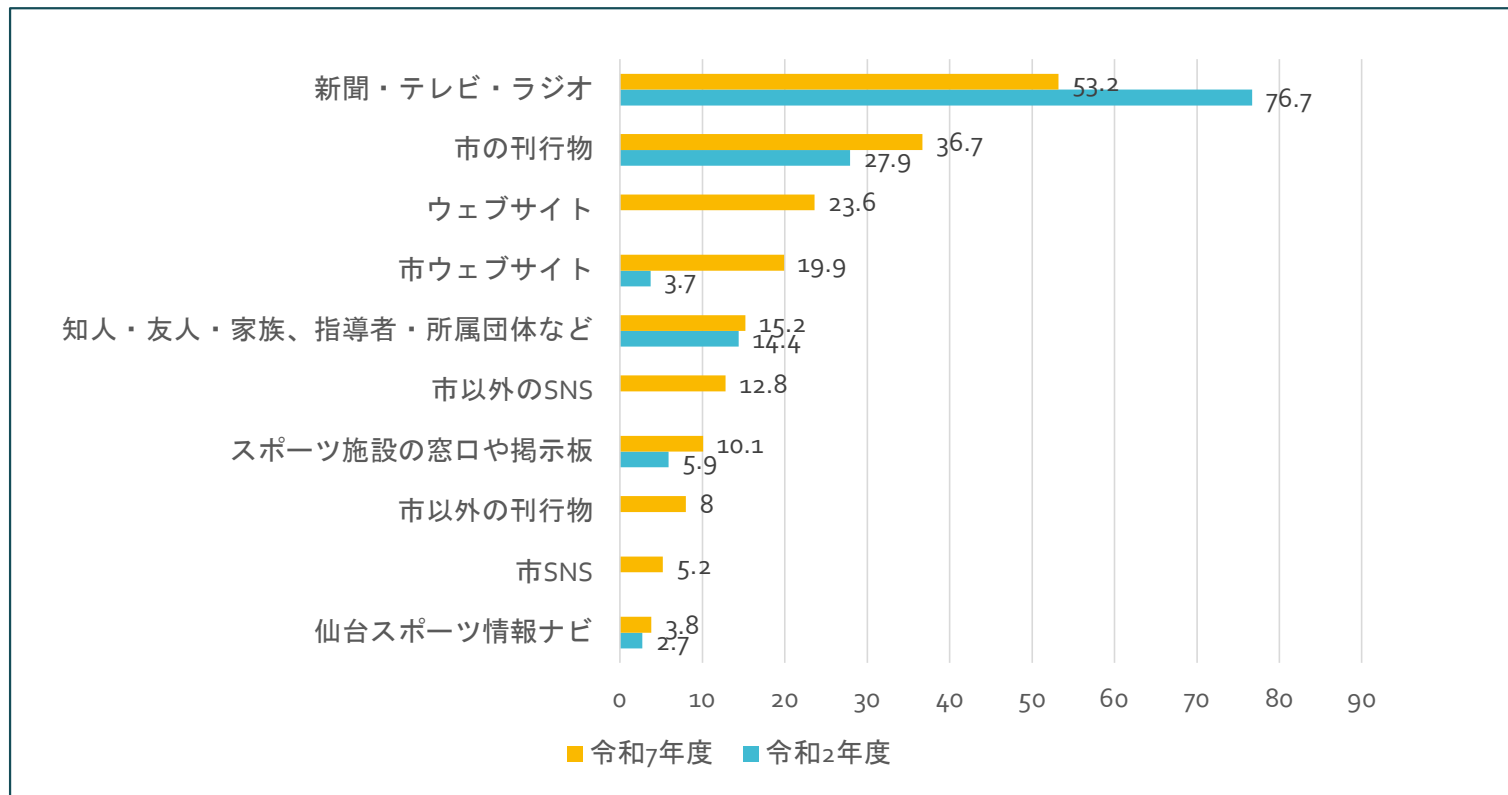
- ・ 今後、活動に参加したいと思う人の割合
(R2・R7「スポーツに関する意識調査」)



■ 前回調査に比べ、「スポーツボランティア活動を行いたくない」、「わからない」と回答した方の割合が増加した(69.4%→82.0%)。

各種情報媒体の利用実態(1)

・スポーツに関する情報をどこで得ているか（R2・R7「スポーツに関する意識調査」）

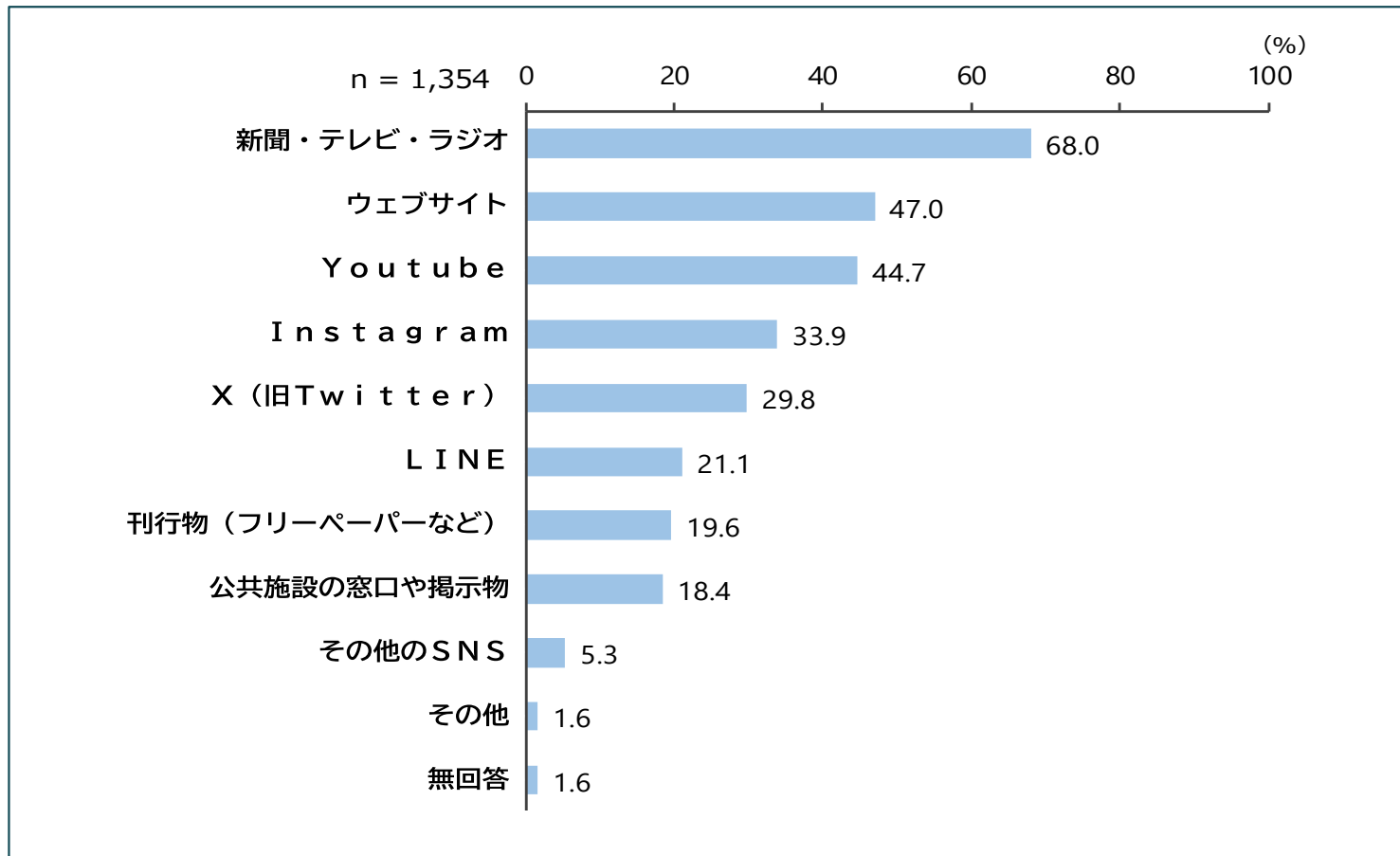


※「ウェブサイト」「市以外のSNS」「市以外の刊行物」「市SNS」は前回調査で未聴取

■60代以上は「新聞・テレビ・ラジオ」(73.4%)が、10代は「市以外のSNS」の割合(34.2%)が他の世代に比べて高い。

各種情報媒体の利用実態(2)

- ・スポーツ以外を含めて様々な情報を得るときに、普段どのような情報媒体を利用しているか
(R7「スポーツに関する意識調査」)



各種情報媒体の利用実態(3)

	1位	2位	3位
男性・15～19歳	Youtube	Instagram	X(旧Twitter)
女性・15～19歳	Instagram	Youtube	新聞・テレビ・ラジオ
男性・20～29歳	Youtube	X(旧Twitter)	新聞・テレビ・ラジオ
女性・20～29歳	Instagram	X(旧Twitter)	Youtube
男性・30～39歳	Youtube	X(旧Twitter) ウェブサイト	－
女性・30～39歳	Instagram	X(旧Twitter) / Youtube	－
男性・40～49歳	ウェブサイト	新聞・テレビ・ラジオ	Youtube
女性・40～49歳	ウェブサイト	Instagram	新聞・テレビ・ラジオ
男性・50～59歳	新聞・テレビ・ラジオ	ウェブサイト	Youtube
女性・50～59歳	新聞・テレビ・ラジオ	ウェブサイト	Instagram / Youtube
男性・60～64歳	新聞・テレビ・ラジオ	ウェブサイト	Youtube
女性・60～64歳	新聞・テレビ・ラジオ	ウェブサイト	Youtube
男性・65歳以上	新聞・テレビ・ラジオ	ウェブサイト	Youtube
女性・65歳以上	新聞・テレビ・ラジオ	刊行物(フリーペーパーなど)	公共施設の窓口や掲示物

■10代～30代は「Youtube」など各種SNSが多く、50代以上は「新聞・テレビ・ラジオ」が多い。

(参考)計画策定までのスケジュール

- 7月 骨子案に関する検討(第3回検討委員会)
骨子案の段階では、主に下記について検討
✓ 目指す姿、基本方針
✓ 重点施策、基本施策
- 10月 中間案に関する検討(スポーツ推進審議会)
中間案の段階では、主に下記について検討
✓ スポーツ施策の内容
✓ 取組の方向性(主な事業)
- 11~12月 パブリックコメント実施
- 1~2月 パブリックコメント結果報告、最終案に関する検討(検討委員会・スポーツ推進審議会)
- 3月 計画改定版策定